



現場から（最近のニュースから）

今年の漢字は

税

毎年恒例になっている今年の漢字が12月12日に発表されました。日本漢字能力検定協会がその年をイメージする漢字一字の公募を日本全国より行い、その中で最も応募数の多かった漢字一字を、その年の世相を表す漢字として発表するのですが、2023年は「税」でした。「税」は2014年に消費税が増税された時に選ばれていて、2回目だということです。2023年に「税」が選ばれた理由は、税に関する話題が多く取り上げられたこと、1年を通して増税議論が活発に行われたことや、所得税・住民税の定額減税、インボイス制度やふるさと納税など、多岐に渡る税にまつわる話題が取りざたされたことからだと言われています。

発表される前後に、それぞれの人が自分の今年の漢字について語っていましたが、その中のひとり、東京都の小池百合子知事は、「酷」と答えたということです。夏の酷暑に加え、緊迫した状態が続くウクライナ情勢やイスラエル・パレスチナ情勢を挙げ、「地球もそうだし、民主主義や平和がすごく脅かされ酷（ひど）いと思う」と言って、「それなりに長く生きていますけれど、本当に先が読めない」と話し、手元の紙にマジックで「酷」と書いたそうです。しかし、「そうは言ってもこれからはもう少し明るくいきたい」と続け、「ポジティブにはこっち」と、別の紙に「翔」の文字を書いたということです。大リーグで活躍する大谷翔平選手の話に触れ、「酷い部分をどうポジティブに対処していくのか。課題とソリューション（解決策）と両方になるんじゃないかな」と、二つの漢字を手語に語ったということです。（12月15日朝日新聞より）

あなたの今年の漢字は何でしょうか。新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、長い間、制限されていた旅行や外食、人との交流も回復しました。しかし、制限がなくなるのを待ちに待っていたのに、いざ制限が解除されたといって、自由で喜べたかというところではなく、生きづらいような気がします。それが、小池知事が言われるように、気候（酷暑）のせいや、戦争のせいや、それらの影響で物価が高くなって暮らしが苦しいからでしょうか。それに対して、ポジティブに対応していこうとしても、どうしたら良いかという解答を持っている人はいるでしょうか。解答を知るには、本当の問題は何かを正しく知る必要があります。しかし、なんとなく閉塞感のある社会の本当の問題を知っている人は少ないのです。いままで総理大臣が変わっても、まったく良くなりませんでした。岸田総理も、支持率がすごく下がっていますが、どの総理になっても、ひどい世の中は変わりません。だれも本当の問題と、その解決策を知らないからではないでしょうか。人間がどのような存在であるのか、存在目的は何かを知り、本当の問題は何かを知るとき、正しく問題の解決を見ることが出来ます。あなたの今年の漢字を「穩（おだやか）」にする、その秘訣について、お分かちしたいのです。



救いの道

だれでも幸せになって、うまくいきたいのに、なぜ人生がこんなにも苦しくてつらいのでしょうか。

予期せぬ事故にあり、やることなすこと、すべてうまくいかず、会社ではやりがいどころか、仕事と人に疲れるばかりです。学校は、もはやいじめの天国になりつつあります。家庭内は冷たい風が吹き、一つ屋根の下でばらばらになり、実際に崩壊しているところも少なくありません。そのうち体は病気になる、心も病んでしまい、眠れない夜が続きます。お酒や薬に頼り、ギャンブルや快樂に走ってみても答えはありません。わらにもすがる思いで占いをし、おふだやお守りをつけてみますが、解けそうにもなく、どんどんひどくなるだけです。

ときには、表では他人がうらやむほどの成功をおさめたのに、裏は穴が開いてもれていくし、隠れた問題でなげき、ため息をつきながら人生のむなしさを感じています。胸にはぽっかりと穴が開いて、埋められません。とても憂うつになって、時々、自殺の衝動にかられます。幻聴や幻覚に悩まされるときもあります。

なぜこうなったのでしょうか。



それは、人が神様を離れているからです。魚が水を離れ、木は土から根を放り出すと枯れて苦しみ死んでいきます。人は神様に会って神様とともにいるべきたましいを持つ存在です(創世記1:27)。ですから、神様と出会う時、すべての問題が解決され、新しい人生が始まります。しかし、人は罪を犯して神様を離れてしまい、二度と神様に会うことができなくなりました。そのときから、目には見えない暗やみの力が、人を運命の力に閉じ込めて、苦しめて滅ぼしているのです。それで、どんなに暴れても抜け出すことができません。どんどん疲れはてて倒れるだけなのです。



神様は苦しみの中にいる人を愛し、この運命の泥沼から抜け出して、神様に会うことができる道を開いてくださいました。その道がイエス・キリストです。イエス・キリストが罪人の私たちの身代わりとなって、十字架を背負い、すべての罪を赦してください(ローマ5:8)、私たちが苦しめていた暗やみと呪いの勢力を完全に打ち砕いて勝利なさいました(1ヨハネ3:8)。そして言われます。「わたしは道であり真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれ一人として神に会うことはできません」(ヨハネ14:6)イエス・キリストは神様に会う道となりました。「疲れて重荷を負っている人はわたしのところへ来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます」(マタイ11:28)と私たちを招いておられます。



もうこれ以上、苦しみの人生にとどまっている理由はありません。道であるイエス・キリストを信じることで、神様に会うことができます。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしのことばを聞いて、わたしを遣わした方を信じる者は、永遠のいのちを持ち、さばきに会うことがなく、死からいのちに移っているのです」「この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった」だれでもイエス・キリストを救い主として信じ、心に迎え入れれば救われます。下の「受け入れのお祈り」を通してイエス・キリストを心に迎えることができます。

「愛の神様、神様の驚くべき愛と、救いの計画を感謝します。今、私は罪人であることを認めて、悔い改めます。私の心の扉を開いて、今、イエス・キリストを私の救い主、私の神様として受け入れます。私の罪を赦してください、私を救ってくださいましたことを感謝いたします。これからは、神様のみこころに従って生きる者にしてください。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン」

相談のある方は、いつでも連絡ください